

# 浮魚礁モニタリング調査事業

金田佳久

平成7年3月に本県海部沖に設置した浮魚礁（鋼製の人工浮体）の利用状況や漁獲効果を把握するために、平成8年度に引き続き調査を実施した。ここでは、その概要を報告する。なお、この調査は県単独浮魚礁漁場モニタリング調査事業に基づき実施した。

## 調査の方法

平成9年4月から平成10年3月までの間、海部郡に所在する漁協所属の曳縄釣り漁船4隻およびカツオ一本釣漁船1隻を標本船に設定し、日誌の記帳を依頼した。日誌には操業日ごとの漁場、魚種ごとの銘柄別漁獲量、他の操業船の出漁状況を記録することとした。また、標本漁協の水揚げ資料からカツオ等の水揚調査を行った。

## 結 果

### 1 標本漁協の1997年度におけるカツオ等の漁獲量および漁獲金額

カツオの漁獲量は112.5トン、漁獲金額は56,094千円で、前年のそれぞれ130.6%、104.9%であった。漁獲は4～6月の春期および翌年3月の北上期にみられており、南下期にまとめて漁獲されることはなかった。漁場は大正礁以南の沖合域に集中し、紀伊水道外域に漁場が形成されることはなかった。

クロマグロ幼魚の漁獲量は9.7トン、漁獲金額は14,983千円で、前年のそれぞれ20.1%、30.1%であった。漁獲の盛期は8～10月で、当歳魚主体の漁獲であった。

キハダ幼魚の漁獲量は18.5トン、漁獲金額5,882千円で前年のそれぞれ41.1%、40.0%であった。漁獲は5月にまとめて漁獲されたのみで、前年を大きく下回り低水準であった。

その他の魚種はメバチ幼魚を除いて前年を大きく下回った。

以上のように、今年度の標本漁協における漁獲量はカツオを除く全ての魚種で前年を大きく下回り低水準な漁獲であった。

### 2 浮魚礁におけるカツオ等の推計漁獲量および推計漁獲金額

標本船調査および聞き取り調査から推計された標本漁協の浮魚礁での漁獲量を表1に、漁獲金額を表2に示した。

クロマグロ幼魚の推計漁獲量は 271kg ,推計漁獲金額は 382 千円で ,前年比はそれぞれ 8.6% ,9.7% であった。シイラの推計漁獲量は 164kg ,推計漁獲金額は 16 千円で ,前年比はそれぞれ ,8.8% ,12.3% であった。その他の魚種については ,推計漁獲量が 100kg を下回る低水準な漁獲であった。

以上のように今年度の浮魚礁での漁獲は全ての魚種で極めて低水準であった。

この原因は ,標本漁協の漁獲状況に象徴されるように今年度のカツオおよびメバチ幼魚を除く魚種の漁獲が極めて不振であったことと好調であったカツオの漁場が大正礁以南の海域に限られており ,紀伊水道外域に漁場が形成されなかったことが挙げられる。

表 1 標本漁協における浮魚礁での推計漁獲量(kg)の推移

年度	カツオ	クロマグロ 幼魚	キハダ幼魚	メバチ幼魚	ビンナガ	シイラ	キハダ	その他
1995	8,624	2,766	2,367	864				
1996	369	3,144	4,055			1,331		
1997	4	271	55			164		96
累計	8,997	6,181	6,477	864	0	1,495	0	96

表 2 標本漁協における浮魚礁での推計漁獲金額(円)の推移

年度	カツオ	クロマグロ 幼魚	キハダ幼魚	メバチ幼魚	ビンナガ	シイラ	キハダ	その他
1995	1,930,000	2,440,000	670,000	130,000				
1996	249,139	3,933,772	1,925,486			179,644		
1997	4,522	382,271	22,737			15,843		105,906
累計	2,183,661	6,756,043	2,618,223	130,000	0	195,487	0	105,906